



### 校内マラソン大会

1月29日(金)校内マラソン大会を行いました。今年は校内を周回するコースで、体育の授業で走ったベストタイムをもとに、男子が3組、女子が4組に分かれて走りました。小雪が降る中、男子が5km、女子が3kmを懸命に走り、男子は2年加藤 想くん(中央中出身)が優勝、女子は2年寺田 美七海さん(磯松中出身)が優勝しました。



#### 男子優勝 加藤 想 君の感想

自分が最後の組で走るまで、他の組で走るクラスメートを応援していましたが、みんながそれぞれのベストを尽くして走る姿に感動し、とても力をもらいました。何かに一生懸命取り組むことは自分のためになるだけでなく、周りに感動と力を与えることを改めて感じることができました。この結果もみんなのおかげです。

#### 女子優勝 寺田 美七海 さんの感想

授業において、ベストタイムが振るわないことが続き、マラソン大会がどんどん近くなるにつれて、不安などが高まっていました。しかし、本番になって、”後悔する走りをしたくない”と思って一生懸命最後まで走り切り、1位をとることができて嬉しかったです。

### 英語レシテーションコンテスト(1年生)

2月4日(木)1年生が英語レシテーションコンテストを行いました。女性と子どもの教育の権利を世界に訴えているマララ・ユスフザイさんのスピーチを1年生は全員がコミュニケーション英語 I の授業で暗唱します。そこで選ばれた代表者10人が体育館で暗唱し、技を競いました。優勝は倉石 賢くん(松賀中出身)でした。その後、審査委員長をしていただいた広島大学 Joseph Lauer 先生に「The Best Ways to Study English」という題目で、講演をしていただきました。

#### 優勝した 倉石 賢 君の感想

私は、レシテーションコンテストは簡単なものだと思っていました。全文を覚えて、ある程度抑揚などを付けておけば大丈夫だと思っていました。しかし、当日、皆のスピーチを聞いていて、みんな「マララさん」になっていてびっくりしました。コンテストを通して考え方が変わりました。

「マララさんの伝えたいことは何なのか」を改めて考え、マイクの前に立ちました。緊張しましたが、頭の中でマララさんの伝えたいことを考えて、感情を込めて発表することができました。



#### <レシテーション部分の一部>

Dear brothers and sisters, we want schools and education for every child's bright future. We will continue our journey to our destination of peace and education. No one can stop us...